

2007. 4. 1 ヘラ谷奥（イチゴ谷山） くもり A主催ツアー



車道沿いのイワナシ

9:20 平良ふれあいセンター 10:
10 送電線下尾根 12:05 909
P手前ブナ 12:55 昼食後発 1
4:00 P909 経由ヘラ谷奥 1
5:25 ヘラ谷奥の北東尾根 15:5
5 平良ふれあいセンター着



イワウチワ

今回はヘラ谷奥（京都名：イチゴ谷山）と909Pの間のブナが目標。ふれあいセンターには地元のメンバー含め30名弱。送電線までの車道歩きでイワナシを発見、いつもは山でみている花を車道沿いで見れたことがまず驚き。



古木のなかの新しい木

送電線の下から巡視路の沿って登りのスタート。尾根に出て、対面にある1ヶ月前の下山路を確認。ここからは巡視路からはずれ、かすかな踏み跡のある尾根を進む。地元のMさんが先頭でナタを振っている。

イワウチワの群落が登りのつらさを払拭してくれる。白いイワウチワもある。主稜線にでると大きな杉の木に簡単な標識があった。右手がイチゴ谷山、左手が久多となっている。南のP909に向かう。



主稜線での分岐の杉

踏み跡は少しはっきりとしてきた。大きな木も多いが、多くは残骸のみ。写真にあるように、木の中に木があるような面白い木も多くあった。落雷で裂けた木もあった。ブナの大木はどーんとあった。



ブナの大木

Mさんによれば、新緑のころがもっと大きく見えたとのこと。おとなふたりでは手が触れないくらいの径のブナ。Dさんによれば、滋賀にはもっと大きなブナがあるが、この近辺ではNO. 1 とのこと。昼食&コーヒーを楽しんだあとは



P 9 0 9 山頂

P 9 0 9 に。山頂からは白倉岳、武奈。特に、武奈の大きさは改めて感心する。ピークは一面笹であり、座れるような雰囲気はない。ブナの大木を経て、ヘラ谷奥に向かう。山頂の標識は木製であり、イチゴ谷山とある。

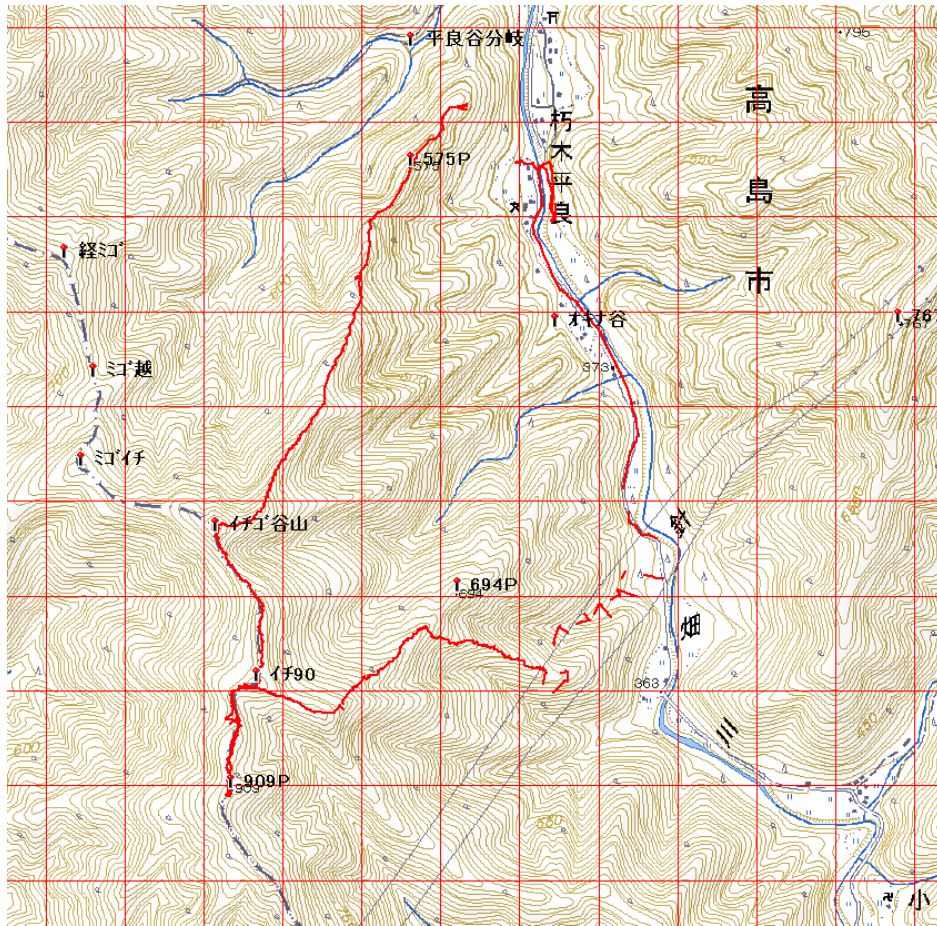
Dさんはここで熊との遭遇があったとのこと。北東尾根で下山する。途中で黄色の花をもつダンコウバイや白いバイカオウレンと出会う。尾根のドンツキあたりで東の急斜面をおりる。概ね30度の勾配ゆえ、一部のメンバーは結構こけていた。センターに到着後、Mさん宅のしし鍋をごちそうになる。本日も大満足の山行であった。しし鍋で思い出したが、昼食時にはMさんより、いのししの燻製をいただく、ビールがあればさらにGOODであったが、おいしいゆえ、何切れも食べてしまった。



急なくだり



平良



送電線下の登り開始時および朽木平良への急な下りはロストしています。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）及び数値地図 50mメッシュ（標高）を使用したものである。

（承認番号 平17総使、第290号）